



令和8年度 第33号

国語・図工「秋さがし」小2

9月15日(火)の2時間目、グラウンドや花壇、正門周辺で、小学部2年 A・B 組の子どもたちが元気に活動していました。おのおの手にはタブレットを持って、熱心に何かを探している様子。「何の学習ですか？」と担任の先生に尋ねてみると、「秋を探す活動です」と教えてくれました。この活動は、国語でこれから学習する单元や、図工の作品づくりへとつながっていくそうです。

私自身、ここベルギーで迎える秋は2度目となります。長かった昼が日に日に短くなり、日本以上に「落ち葉の季節」を色濃く感じられるこの時期。子どもたちの目には、ベルギーの秋がどのように映っているのでしょうか。タブレットに収められた、子どもたちならではの素敵な「発見」のレポートを見るのが、今からとても楽しみです。



道徳「ありがとう いっぱい」小1



私の似顔絵→

それぞれ別の日ですが、校長室に2人の小さな訪問者がありました。2人とも手にお手紙を持って、私に伝えたいことがあるようです。「読んでくれる？」と声をかけると、はにかみながらも嬉しそうに読んでくれました。

Aさんは「こうちようせんせい まいにち あさ おはようございます をいって くれて ありがとう。うれしくなるよ。」、Bさんは「こうちようせんせい いつもあいさつしてくれて ありがとう。まいあさ ありがとう。」と一生懸命に伝えてくれました。心がじんわりと温くなる、本当に嬉しい出来事でした。「こちらこそ、素敵な言葉をありがとう」と、幸せいっぱいになりました。

これは小学部1年生の道徳「ありがとうがいっぱい」の学習の一環だそうです。「どんなとき、どんな人にお世話になっているでしょうか」というテーマで考えを深めたとのことでした。子どもたちは、いつも支えてくれるお父さんやお母さん、ご家族はもちろんのこと、日頃から周りにいる様々な人への感謝の気持ちに気づき、それを言葉にして届けてくれたのだと思います。その一人に私も加わることができ、心から光栄に思います。

「ありがとう」という言葉は、「当たり前」の反対側にあるものだと感じます。誰かにしてもらったことを「当たり前」と捉えるよりも、「ありがたいな」と感謝できる心をもつこと。それこそが、子どもたちの人生をより豊かで幸せなものにしてくれるのだと思います。子どもたちの素直な心から、私自身も大切なことを教えられた気がします。



2人の似顔絵→

「進路を考える会」④大学講師

9月10日(木)の7時間目、中学部の「進路を考える会」の4回目を実施しました。今回のゲストティーチャーは、ルーヴェン・カトリック大学の講師として日本語教育や日本学の分野でご活躍中の方です。毎年、本校(JSB)小学部の6年生が同大学の日本語専攻の学生さんたちと交流を続けているというつながりから、今回の講座を担当していただくことになりました。

先生は、大学でフランス文学を専攻し、卒業後は電気製品の会社に就職されたそうです。そこでは、信頼する上司が営業成績



の芳しくないことを理由に強く非難されている様子を目の当たりにし、「自分にはこの仕事が向いていないのではないかと毎日不安を感じていたとのことでした。そんなある日、通勤電車で隣の人が読んでいた新聞の「日本語教師養成講座」の広告が目に入り、まるで導かれるように日本語教師への転職を決められました。

今のお仕事については「学生と喋るのが楽しい」とおっしゃり、「日本語を使って何か(趣味や仕事など)をすること」が(学生たちの)目的なのだとお話ししてくださいました。また、先生は近々定年を迎えら



れるそうですが、「いつまでも学び続ける」「定年でも学びは終わらない」という前向きで強い思いが、生徒たちの心に深く響いていました。そして、生徒たちの進路選択に向けては、「目の前のリストから選ぶのではなく、自然と心が惹かれていくものを追いかけていくことが大切」とアドバイスをいただきました。

今日の授業風景(中学部1年生)

9月15日(火)の4時間目、中学部1年生の教室では数学の授業が行われていました。学習していたのは「関数」の「比例」で、この日は実際にグラフを描く内容でした。

「比例」は小学校でも習いますが、中学校では数の世界が「負の数(マイナスの数)」まで広がるため、グラフも原点を中心とした座標の中に描いていくことになります。

比例のグラフは「原点を通る直線」ですが、この日扱っていたのは、比例定数が「分数」の問題でした。「原点と点(1, a)を通る直線を描けばいい」と思い込んでいるだけでは、(目盛りの途中に点を打つことになり)不正確なグラフになってしまいます。関数の学習で大切な「式・表・グラフ」をフル活用して、工夫しながら問題を解決していくことが求められます。

「関数」の学習は、深く掘り下げるほど面白い世界が広がっています。生徒達にはその面白みが分かってほしいと願っています。



授業では「教え合い」の様子が見られました。級友に教えることは、より理解を深めることにつながります。